

2022年2月15日から始まったフェイズ2とは？

特記すべき事（2022年2月14日（月）発表内容）

- 2月15日（火）真夜中より、ニュージーランド全土がオミクロン変異種対策のフェイズ2になりました。
- 濃厚接触者であっても職種により、又予め申請したビジネスで働く方は陰性検査結果の提示により職場復帰が可能になりました。
- 全ての高齢者施設でのブースターワクチン接種が完了しています。

オミクロン対策フェイズ2とは

- 感染者の自己隔離期間：14日間から10日間へと短縮（72時間以上無症状なら10日後に自主終了）。感染者のバブル（家庭）内接触者も10日間（接触経路特定チームとの頻繁な連絡が行われ、Day3とDay8にPCR検査）。
- 接触者（家庭内以外）の自己隔離期間：10日間から7日間へと短縮（Day5のPCR検査）。MIQも然り。
- 無症状且つワクチン2回接種済みの重要職（registerされたcritical service 医療・食料などの社会基盤業種）に就く者は、接触者となっても毎日のRAT（迅速抗原検査 Rapid Antigen Test）の陰性結果により出勤可能。
- Close contact exemption scheme（接触者自己隔離免除計画）に登録したビジネスで仕事に就く接触者となった無症状の者は、コミュニティー・ワクチン・クリニックの等、所定の場所でRAT検査キット10個入りをもらえる。

ブースター接種についてのアップデート

- 65歳以上の95%が2回接種済みで、85%がブースター（通常の3回目）接種済み。
- フェイズ2開始以降、政府は高齢者施設での検査を強化しており、施設内の職員及び住人に少しでも症状があれば即座にPCR検査を行える様にしている。

英語以外の言語や文字以外の形式での情報

- 新型コロナウイルス関連情報は27言語及び5つの形式（NZ手話・平易英語・大きな字・ビデオ・点字など）にて Unite Against COVID-19 ウェブサイト（<https://covid19.govt.nz/languages-and-resources/translations/japanese/>）にあり、以下の様なポイントについて説明してあります。

自己隔離計画（<https://toolkit.covid19.govt.nz/assets/569444>）
ブースターワクチン接種
子供達をコロナから守るには
マスクの装着方法
検査について
コロナにかかった場合の援助
個人と家族への援助

情報源：COVID-19グループ、総理大臣内閣局